

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
草津市	常盤地区 (片岡、津田江、下寺、下物、 芦浦町東、芦浦、長東、上寺、 穴村、北大萱、志那吉田、志那、 志那中)	令和3年2月17日	-

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	457.3 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	455.1 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	86.5 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	29.5 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	50.4 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	75.4 ha
(備考)	

### 2 対象地区の課題

地区内の多くが整備された農用地区域であり、中心経営体も比較的多く、集積も一定進んでいるが、農業者の高齢化や農業離れ、後継者不足が進んでおり、不測の事態に対応するための中心経営体同士でのサポート体制が必要である。

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

常盤地区の農地利用は、中心経営体である27経営体が担い、作業の効率化と規模拡大を目指し、集約化を図っていく。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状(R1)		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む 範囲
認農法	A	水稻・麦・ 大豆・野菜	2.1 ha	水稻・麦・ 大豆・野菜	2.1 ha	片岡、上寺、 穴村、北大 萱、志那、志 那中
認農	B	水稻	1.8 ha	水稻	2.3 ha	上寺、志那、 志那中

属性	農業者 (氏名・名称)	現状(R1)		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む 範囲
認農法	C	露地野菜・ 施設野菜	2.4 ha	露地野菜・ 施設野菜	3.3 ha	上寺、志那
認農法	D	施設野菜・ 露地野菜	0.6 ha	施設野菜・ 露地野菜	0.9 ha	志那
認農	E	水稲・施設 野菜・麦・ 大豆・露地 野菜	0.3 ha	水稲・施設 野菜・麦・ 大豆・露地 野菜	0.4 ha	北大萱
認農	F	水稲・麦・ 大豆	5.1 ha	水稲・麦・ 大豆	6.0 ha	北大萱、志那
認農法	G	水稲・麦・大 豆・露地 野菜	1.1 ha	水稲・麦・大 豆・露地 野菜	1.4 ha	下物
認農	H	水稲・麦・ 大豆	0.2 ha	水稲・麦・ 大豆	0.4 ha	北大萱
認農	I	施設野菜・ 水稲	0.3 ha	施設野菜・ 水稲	0.3 ha	北大萱
認農	J	水稲・麦・ 大豆	2.8 ha	水稲・麦・ 大豆	6.8 ha	上寺
認農	K	水稲・麦・ 大豆	22.2 ha	水稲・麦・ 大豆	40.0 ha	片岡、芦浦、 長束、上寺
認農	L	水稲・麦・ 大豆	32.4 ha	水稲・麦・ 大豆	39.5 ha	志那、志那中
認農	M	水稲・麦・ 大豆	17.2 ha	水稲・麦・ 大豆	25.8 ha	片岡、志那、 志那中
認農	N	水稲	1.8 ha	水稲	1.8 ha	志那
認農	O	水稲・麦・ 大豆	46.1 ha	水稲・麦・ 大豆	55.8 ha	志那、志那中
認農	P	水稲・麦・大 豆・果樹	19.2 ha	水稲・麦・大 豆・果樹	24.8 ha	片岡、下寺、 長束、上寺、 穴村、北大 萱、志那中
認農法	Q	農産物販売・ レストラン・体 験農園・施設 ・露地野菜 ・水稲	3.2 ha	農産物販売・ レストラン・体 験農園・施設 ・露地野菜 ・水稲	3.4 ha	下物
認農	R	水稲・麦・大 豆・露地 野菜	28.7 ha	水稲・麦・大 豆・露地 野菜	36.4 ha	下寺、下物、 芦浦
認農	S	水稲・麦・大 豆・露地 野菜	56.5 ha	水稲・麦・大 豆・露地 野菜	63.8 ha	片岡、下寺、 下物、芦浦
認農	T	水稲・麦・ 大豆	1.7 ha	水稲・麦・ 大豆	3.0 ha	片岡、芦浦

属性	農業者 (氏名・名称)	現状(R1)		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む 範囲
認農法	U	工芸作物	0.4 ha	工芸作物	0.4 ha	芦浦
認農	V	水稲・露地 野菜	2.3 ha	水稲・露地 野菜	2.3 ha	志那中
認農	W	水稲	2.9 ha	水稲	5.8 ha	志那中
認農	X	施設野菜	0.3 ha	施設野菜	0.3 ha	下物
認農 法集	Y	水稲	23.2 ha	水稲	23.2 ha	北大萱
集	Z	水稲・麦・ 大豆	10.4 ha	水稲・麦・ 大豆	10.4 ha	片岡
集	AA	水稲・麦・ 大豆	11.6 ha	水稲・麦・ 大豆	11.6 ha	下物、芦浦、 長束
計	27人		296.8 ha		372.2 ha	

#### 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

<p>農地の貸付け等の意向 貸付け等の意向が確認された農地は、48筆、41,238.52㎡となっている。(R1実施アンケート:公表可のみ)</p>
<p>農地の貸借についての取組方針 将来の農地の集積・集約化を目指し、JAによる農地所有者代理事業(JA受委託)や、農地中間管理機構の活用等を推進し、中心経営体への集積を進めていく。</p>
<p>中心経営体同士のサポート体制についての方針 中心経営体が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になる等、不測の事態に対応するため、中心経営体同士で話し合い、サポートし合える体制づくりに取り組む。</p>
<p>高収益作物の取組方針 米、麦等の土地利用型作物以外に、野菜等の高収益作物の作付を推進する。</p>
<p>法人化の取組方針 後継者問題の解決や規模拡大を目指し、中心経営体の法人化を検討する。</p>
<p>未整備田の取扱い方針 未整備田については、企業の参入等により活用を図る。</p>
<p>生産・流通・販売についての取組方針 直接販売や直売所等への出荷に加え、市内商業との連携により、販路拡大を図る。</p>
<p>老朽施設更新の取組方針 用水管等更新整備事業の実施区域については、事業実施に併せ、排水路・暗渠排水の更新や畦畔の除去による大区画化等を検討する。</p>

(参考) 農地の貸付け等の意向(R1実施アンケート)

農地の所在(地番)	貸付け等の区分(㎡)		
	貸付け	作業委託	売渡
区分別合計	11,576	14,543.52	15,119
全体合計	41,238.52		